



大塚台の風

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

横須賀市立大塚台小学校 学校だより260号

R7.6.24

次期学習指導要領に向けた議論が、中央教育審議会が進められています。5月12日・22日の審議会では、質の高い探究的な学びの実現と情報活用能力との一体的な充実について集中的に議論がなされています。このことは、子供たちが成長し自らの力で社会生活を送っていく上で、情報活用能力が非常に重要になってくることを意味していると考えられます。

20日(金)にお伝えした通り、横須賀市の一人一台端末のガイドラインが改定され、7月上旬より3年生以上で端末の持ち帰りが始まります。端末をより有効に活用できるよう職員研修を年14回実施し、学校での学習と家庭学習とを今まで以上に連続したものとしていけるようにするとともに、情報モラルも含めて子供たちの情報活用能力の育成を図っていきたいと考えています。

未来向上スマイル委員会(学校運営協議会)

5月23日に令和7年度第1回未来向上スマイル委員会を開催しました。昨年度に引き続き、〇〇様に委員長を、〇〇様に副委員長をお引き受けいただきました。名称の通り、子供たちの未来がより良くなるよう、そして明るいスマイルで学校生活を送ることができるよう、委員の皆様から学校運営についてアドバイスをいただいたり、様々な教育活動にご協力いただいたりしていきます。

<協議会で話し合われた内容(抜粋)>

◆令和7年度「学校運営の基本方針等」の承認と共有

○グランドデザインを通した学校運営について

○年間行事予定について

○質疑 ・学校事故防止会議は開催されているか？

→毎月1回定期的に行い、学校事故防止に努めている。

・施設の点検は行われているのか？

→毎月1回の定期点検を行うとともに点検範囲を広げた半期に1回の点検も行い、学校事故の未然防止に努めている。

◆授業参観を通して見えてきた子供たちの様子について

・グランドデザインに即した授業を見る視点が事前に示され、その視点から授業を参観するという取り組みが良いと思う。

・全体として明るい雰囲気があるのが学校として良い。子どもたちは安心して登校したり授業に臨んだりしている。

・子どもの活躍の場をどうつくっていくか、具現化したものを示せるとよい。

◆熟議「交通ルールについて」

・ローゼンの上の信号がない交差点は、子どもたちも危ないと思っていて、車を見てわたっている。下から来た車は止まるが、上から来る車は止まらないことがあり、危ないと感じることがある。

・クローバー公園から飛び出たボールを追いかけているのを見かけた。車が来ていたら事故につながっていた。

・一時停止で一時停止していない大人もおり、危険な箇所がいくつかある。

・坂道をスケートボードで疾走していて危ない場面をよく見かける。

・学校では、1年生と3年生で実施する交通安全教室とあわせ、子どもたちに繰り返し指導を行っていく。



<令和7年度 未来向上スマイル委員会 委員名簿>
紙面にてお伝えしています

